

平成30年度 第2回 幸田町総合戦略推進委員会 議事録

○日 時：平成31年1月25日（金）午後2時～3時45分

○場 所：中央公民館ホール

○出席者：委員及びオブザーバーの計14人、町事務局等6人

○協議内容と主な意見等

「幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における数値目標及び交付金事業に対する現時点での評価を踏まえ、今後の展望について委員から以下のような御意見をいただきました。

●リーディングプロジェクトについて

- ・低温プラズマや自動走行技術に関する取組については、技術のブラッシュアップも必要となることから、マイルストーンを定め、コストや予算も勘案した中で町としてできることを考えるとともに、情報発信を行い、プロジェクトを広く認知していただくことが重要である。
- ・プラズマイチゴを観光と絡めて展開し、PRと感想を聞けると良い。
- ・多世代交流施設は、建物のデザイン性に優れ、魅力ある施設であるが、駐車場不足により利用しにくい面があるので改善してほしい。

●観光について

- ・例えば「凧揚げまつり」は、町外はもとより海外の方にも興味を持ってもらえるものだと思うが、地域イベントにとどまっておもったいない。
- ・PRがうまくいっていないことから、SNSなどを使ってアピールすることで多くの若者に関心を持ってもらえると思う。

●農業について

- ・農業振興に対し、ドローンの活用も悪くないが、衛星情報を使った農地管理なども考えられる。いずれにせよ、自動化による効果は高いと思うので、様々な施策に取り組んでほしい。

●まちづくりについて

- ・三ヶ根駅の乗降客数が減少している。周辺市街地の拡大や企業誘致など、地域の活性化に向けた取組が必要である。

●今後の進め方について

- ・PDCAサイクルを回し、今後につなげていくことが重要である。
- ・KPIの未達成の改善に当たっては、町が取り組むものと、町以外の方が取り組むものがあるので、いかに他者の協力を得るかが重要である。「凧揚げまつり」も、実行主体と意識の共有を図らないと意味がないし、「見守りネットワーク事業」については、ボランティアをうまく使ってほしい。
- ・増加傾向にある外国人の方との共生も重要なテーマである。

以上